

おだかいさま

ODAGAISAMA

第120号
令和7年
10月1日発行



地域のために 自分たちでできることを。

「Ben's」の 未来へつながる ボランティア活動

藤島地域青少年ボランティアサークル 「Ben's (ベンス)」

藤島地域の中学生・高校生をメンバーとして、平成9年に発足しました。現在は、16名の会員が所属し、自分たちが地域に対してできることを考え、会員同士のつながりや地域の方々との交流を大切にしながら活動しています。

発足当初は、町の広報誌をカセットテープに録音し、高齢者など希望者に届ける「声の広報活動」からスタートしました。近年では、地域のイベントへのボランティア協力や、敬老会での高齢者との交流、小学生の夏休みの宿題をサポートする活動など様々なボランティア活動を行っています。関心のある方は事務局までお問い合わせください。

<事務局>

鶴岡市藤島庁舎総務企画課

電話 64-2111

Ben's代表メンバーの太田 愛菜さんにお話を伺いました。

— Ben'sに参加したきっかけを教えてください

はじめはボランティアにあまり興味がなかったけれど、姉がBen'sで活動している様子を見て、「楽しそうだな」と思い、中学1年生のときに入会して活動を始めました。

— これまでの活動を通してどんな変化がありましたか？

Ben'sの活動では、地域のいろいろな年代の人と話す機会があります。もともと人見知りで、知らない人と話すのが苦手だったけれど、この活動を続ける中で少しずつ話せるようになり、自信がついてきました。さらに、地域の人から「ありがとう」と言ってもらえることがあり、それがとても嬉しいです。

— 活動を通して感じていることを教えてください。

藤島地域には、親しみやすく、あたたかい人が多いと感じています。そんな地域でのボランティア活動を通して、「助け合うことの大切さ」を感じました。この経験をこれから生かしていきたいと思っています。

「鶴岡市地域福祉活動計画」の 策定を進めています

令和3年度に策定した鶴岡市地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2020」が、今年度で計画期間5年を終了します。現在、令和8年度からの新たな計画（5年間）を策定しています。

鶴岡市が策定

地域福祉計画

総合的な福祉の
方策を示す計画

鶴岡市社協が策定

地域福祉 活動計画

地域福祉の推進を
目的とした民間の
行動・活動計画

地域課題・地域福祉推進の方向性の共有

鶴岡市と鶴岡社会福祉協議会の協働 イメージ

◆地域福祉活動計画とは
鶴岡市社会福祉協議会では、「おだがいさまのまちづくり」の理念のもと、地域福祉の推進を目的とした民間の活動、行動計画である「鶴岡市地域福祉活動計画」を策定し取り組みを進めています。
この計画は、市が策定する「鶴岡市地域福祉計画」と連動して策定しています。これにより、行政や住民、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所など、地域に関わる人や機関の役割が明らかになり、実効性が高まります。そのため、市と市社協が連携・協働し、地域住民が抱える生活課題や福祉課題、目指す方向性を共有して作り上げていきます。

◆新たな計画づくりがスタート

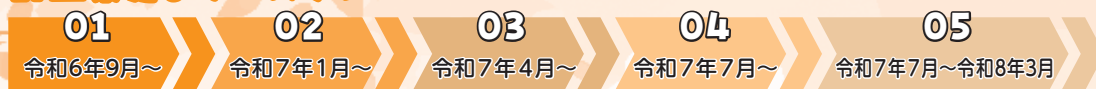
7月22日に市と市社協合同による第一回策定委員会、9月12日にテーマ別部会として第二回策定委員会を開催しました。自治組織・社会福祉・その他専門分野の方々13名に策定委員として出席いただき、それぞれの視点から多様な意見を出し合い、計画づくりに向けた話し合いを行いました。

策定委員会は、特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長で法政大学教授の宮城孝先生や、同研究所理事で東北福祉大学准教授の大石剛史先生から今後の地域福祉を進める上での助言・指導をいただきます。全四回の開催を予定しています。



7/22の第1回策定委員会

計画策定までのスケジュール



新たな地域福祉
活動計画の
策定・公表

01 市民アンケートの実施 (令和6年度)

市民2,000人を対象に
「福祉ニーズに関する市民
アンケート調査」を実施。

03 施策・取組の振り返りや 改善点の分析

これまでの取組の振り返り、
福祉専門職ヒアリングや小地域
福祉活動計画で出された
課題等の分析をしました。

05 策定委員会の開催

多様な意見を出し合い、
計画づくりに向け話し合います。

02 地域座談会の 開催

住民の地域課題を
把握するため、市内各
地域11か所で座談会を
行っています。



04 福祉専門職 ワークショップ

複雑・多様化する相談に対応
している福祉専門職(保健・医療・
こども・高齢・障がい分野)の
意見を反映するために、地域の
課題等について話し合いました。



※アンケート調査結果、策定委員会会議録は、市のホームページで閲覧できます



鶴岡市の地域福祉にいま何が求められている!?

地域座談会や、策定委員会が出た意見の一部をご紹介します。

地域座談会での

声

若い方も地域の集まり
に積極的に参加してく
れたらいいな

一人暮らしに将来不安
があります
生活、家の管理等

高齢者の地域行事
やサロン参加を増
やしたいです

災害時、避難困難な人を隣
近所で情報共有していま
すが、訓練も必要と感じる

ちょっとした困り事は町内会役員へ
相談しづらいかも…

計画策定委員会での

声

匿名での相談や自分のことを知らない人に
相談ができる場所も必要かと思う

人口の減少に伴い、地域の担い手も減少して
きている。担い手が少ない中で最大限効果を
得られるような施策を検討する必要がある

若い世代も子育てや仕事が大変であり、
その生きづらさを理解する必要がある

幅広い世代に活動に参加
していただくためには、デジタ
ルを活用した周知などを行
う必要があると思う

地域の皆さんの声を聞きながら、地域の皆さんと一緒に考えて「地域福祉活動計画」を
作り上げていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根 共同募金に ご協力を お願いします



お寄せいただいた募金は、誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、地域のさまざまな取組に役立てられています。

令和6年度の配分団体より、感謝のメッセージを紹介(一部)します

■ 特定非営利活動法人 ぼらんたす



こどもの居場所活動「らくやこども食堂」は、毎回参加を楽しみにしている子どもたちのにぎやかな声にあふれています。コロナ禍以降、まずは会食をともにすることを中心にやってきましたが、ひとり親世帯の「体験格差」が課題と言われる中、おかげ様で「こども体験イベント」を年間通して実施できました。ありがとうございました。

■ 特定非営利活動法人 鶴岡災害ボランティアネットワーク



鶴岡市内の町内会向け研修会や、東京都江戸川区との防災交流などの研修を実施し、防災意識を高める活動に活用させていただきました。被災地支援では、鶴岡市ボランティアセンターとの協働で、能登半島地震及び庄内最上豪雨災害での支援活動や7回の炊き出しを行うことができました。誠にありがとうございました。

● 運動期間

10月1日～
12月31日

● 戸別募金お願い額 500円

赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を合わせた一世帯あたりの目安額です。ご協力をよろしくお願いいたします。

① 情報掲示板

鶴岡市社会福祉協議会

福祉のつどい

地域住民の福祉に対する関心や理解を深めるため、「表彰状贈呈式」(午前中) & 「福祉×映画のコラボ事業」を行う福祉のつどいを開催します。

★ 日 時 令和7年11月18日(火) 14:00～

★ 場 所 鶴岡まちなかキネマ (鶴岡市山王町13-36)

★ 上映作品 ハッピー☆エンド

住み慣れた我が家で、がんの痛みを抑え家族と過ごしたい。
萬田緑平医師と5つの家族が教えてくれた「在宅緩和ケア」という選択肢。
がんに悩む現代人に伝えたい“緩和ケアという希望”を描いたハートフル・ドキュメンタリー。

★ ミニ講話 「希望する場所で最期を迎えたいを叶える」
～地域緩和ケア“庄内プロジェクト”の挑戦～

上映後は鶴岡市立庄内病院院長の
鈴木 聡先生によるミニ講話があります

● 対象者 鶴岡市民の方 ● 定員 78名(先着順) ● 申込期間 10月1日～10月24日まで ※定員となり次第、受付終了

● 申込先・問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎0235-26-9222 (月～金 8:30～17:15)

当日は、12:00から鶴岡市内の障がい福祉事業所等の商品販売もあります。多数のご参加お待ちしております ☺



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和7年7月1日から令和7年8月31日までのご寄付を掲載しています)

★ 鶴岡地域生活自立支援センターくらしへ

・ 匿名様 10,000円

★ はちもりへ

・ 岩ゆり会様 ウェス8.5kg、古新聞紙26.8kg

★ デイサービスセンターとようらへ

・ 村上 秀雄様 介護用品 11点

★ デイサービスセンターふれあいへ

・ 佐藤 芳三様 50,000円

★ 高齢者福祉センターおおやまへ

・ 森林牧場 佐藤 久一様 尾花沢スイカ7個

★ 鶴岡市ボランティアセンター、各事業所へ

・ 山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部様

タオル164枚

★ 訪問介護事業所へ

・ 匿名様 50,000円

★ フードバンクへ

・ 末日聖徒イエス・キリスト教会様 食品51点

・ (株)アークベル鶴岡支社様 缶詰 96個

・ 井上 美奈様 玄米90kg、白砂糖5kg

・ 生協協同組合共立社鶴岡生協様 食品383点

おだがいさま

第120号

令和7年10月1日発行

発行部数 47,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



広報誌「おだがいさま」は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源とし、偶数月に全戸配布でお届けしています。